

農業部バイテク班
農・工・商連携プロジェクトチーム



機械科
RYOTA IZUMI



電子情報科
BUNTA NAKAZIMA



農業経営科
TAKEHIRO KASAI



農業環境科
KAZUKI TAKASHIMA



流通ビジネス科
KAZUKI YAMAGUCHI

“枠”にはまらない。“枠”の連携

農業が活発な「やまがた」

山形県

売上高(企業単位) : 6,058,307百万円



農林業は0.8%

上図以外の売上高(企業単位)の合算 : 1,448百万円

表示レベルを指定する

- 都道府県単位で表示する
- 市区町村単位で表示する

表示内容を指定する

- 企業数(企業単位)
- 従業者数(企業単位)
- 売上高(企業単位)
- 付加価値額(企業単位)
- 事業所数(事業所単位)
- 従業者数(事業所単位)

表示年を指定する

2012年

表示分類を指定する

- 大分類で見る
- 中分類で見る

他の自治体と一体的に見る

合算地域を追加する

農林業 特化係数

本当に農業県なのか？

表示レベルを指定する

全国を表示する

- 都道府県単位で表示する
- 市区町村単位で表示する

表示年を指定する

2012年

表示する内容を指定する

特化係数（付加価値額）【企業単位】

表示産業を指定する

林業

すべての中分類

グラフ分析

製造業を事業所単位で分析

賃金構造を分析

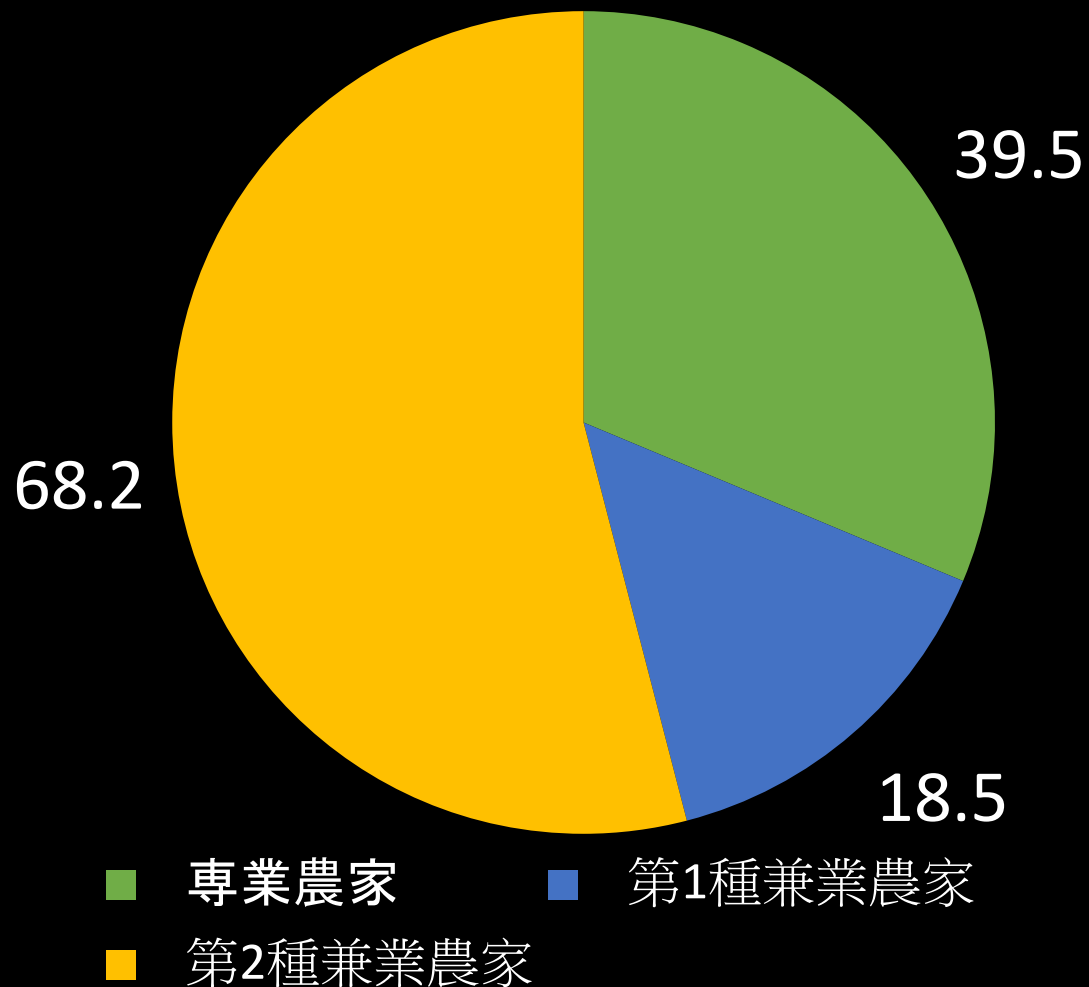
設備投資を分析（製造業）

特化係数（付加価値額）【企業単位】

6.78
5.44
4.10
2.76
1.42

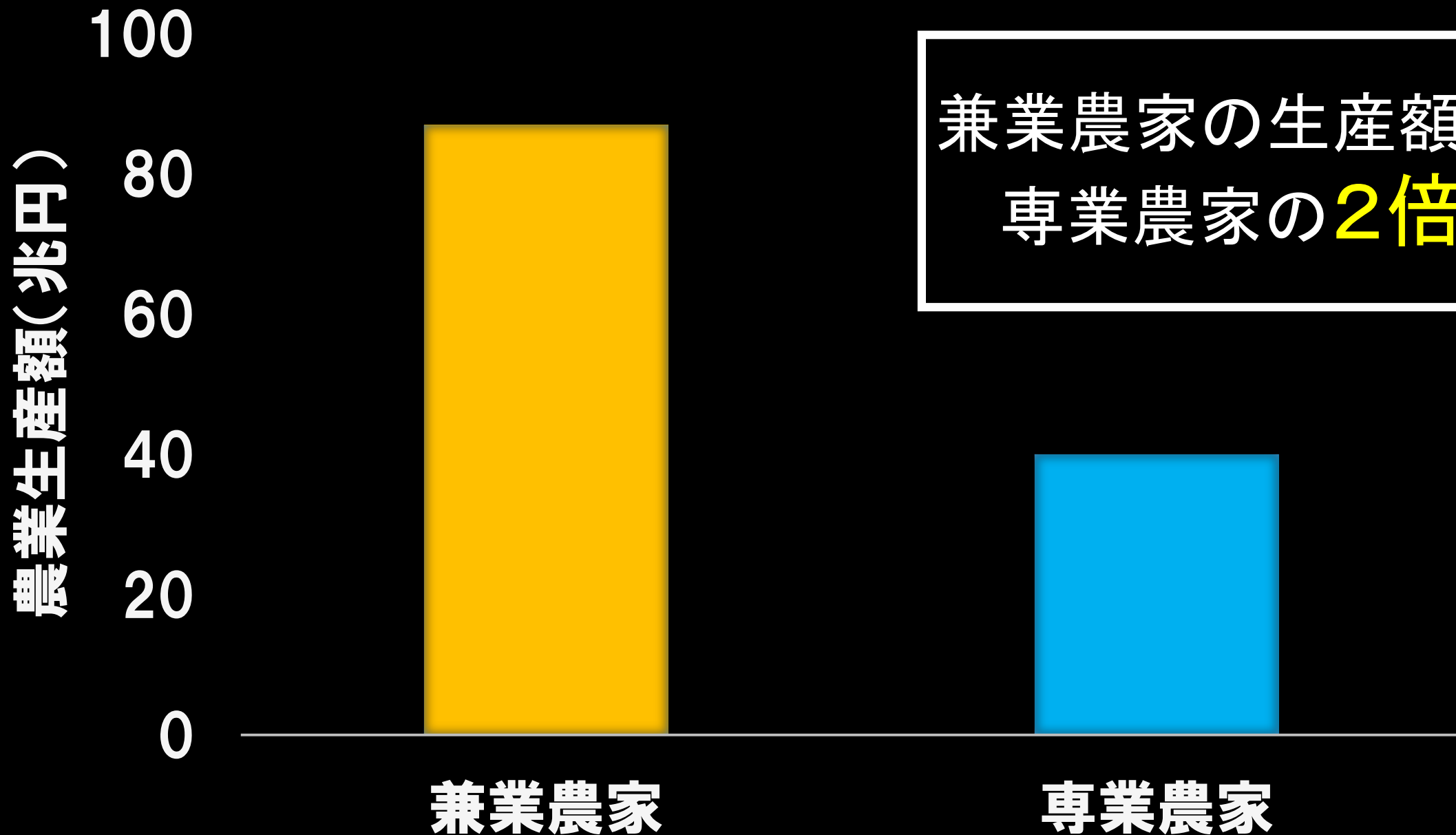
0.08
無色地域はデータ無し

農家戸数



単位: 万戸

- 農家戸数の約8割が兼業農家
- 他の職業につきながら農業に取り組む大変さ。
- 農業を営むことは「収入を得るため」だけではないということ。



資料: 農林水産基本データ集(農林水産省統計部)

兼業農家の存在

- 日本の農業生産に大きく寄与

 - 兼業農家が存在しないと食料自給率↓

 - 「農業の多面的機能」の維持には必要

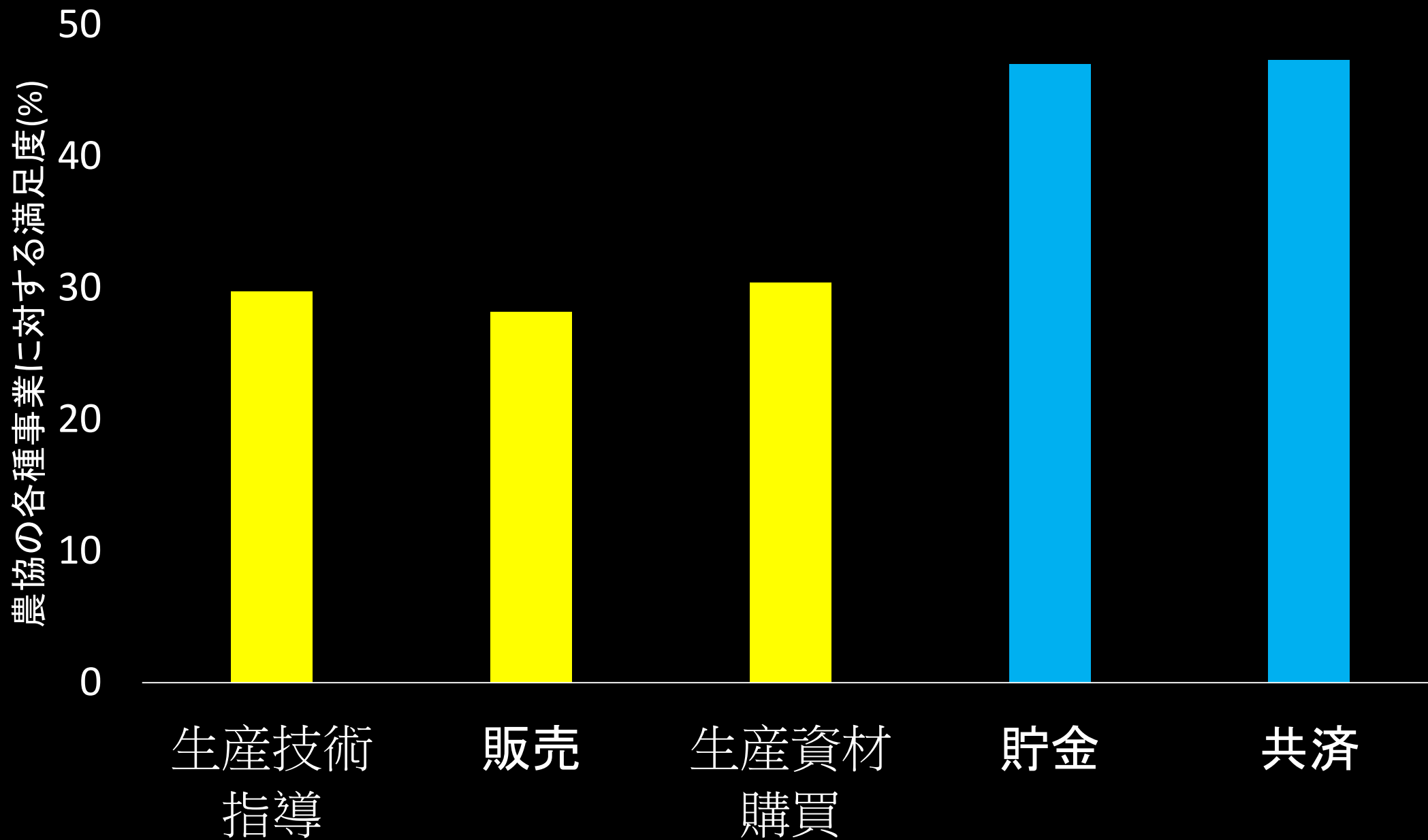
- 「兼業」によるモチベーション↓

 - 農業生産が収入の主ではない。

 - 農地が持つ可能性を100%発揮できていない。

既存システムの代表





既存システムの問題点

- 効率アップのため、新しい肥料・農薬・資材が提供され続ける。

→コスト負担 増

- 独占禁止法が適用されず、農産物・農業資材の市場独占。

→コスト負担 増

- 労働力確保や農地・農業機械の管理は個人。

→兼業農家の負担 増

兼業農家のモチベーションDOWN



時間	月	火	水	木	金	土	日
5:00~	農業	農業	農業	農業	農業		
8:00~	勤務時間	 勤務時間	 勤務時間	勤務時間	勤務時間	農業	農業
11:00~							
14:00~							
17:00~	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業
20:00~							
23:00~							

最適な時期に作業×



高収量・高品質×

時間	月	火	水	木	金	土	日
5:00~	閉店時間					閉店時間	
8:00~	農協の支援時間						
11:00~							
14:00~							
17:00~	閉店時間						
20:00~	閉店時間						
23:00~	閉店時間						

兼業農家に適した
支援システムの構築が必要

HFS

Help Farmer System
～兼業農家を支援するための新たな組織～

HFSによる支援内容



管理作業の肩代わりによる
品質・収量向上及び負担軽減



プライベートブランドの活用
やホームセンターとの連携
による格安資材の確保



農家のグループ化
価格競争・品質向上

本頁のイラストはフリー素材を使用

既存システム-役割分担-

既存システム

兼業農家

生産準備段階

最新資材の販売
農業機械のメンテ

資材の購入
農業機械のメンテ
農地の管理
専門知識の蓄積
労働力の確保

生産段階

農薬・肥料散布
除草作業・農地整備
その他の管理作業
収穫・調整作業

販売段階

農作物の大量出荷
販路の確保
加工品の生産

農作物の大量出荷
販路の確保
加工品の生産

兼業農家にとって

経済的・時間的な負担が大きい

HFS支援-役割分担-

HFS支援

生産準備段階

格安資材の販売
農業機械のメンテ
農地の管理
専門知識の提供
労働力の確保

生産段階

農薬・肥料散布
除草作業・農地整備
その他の管理作業
収穫・調整作業

販売段階

販路の確保
加工品の生産
高付加価値化

兼業農家

専門的知識の習得

HFSとの協同作業
主要な農作業を実施
(田植え・収穫など)

兼業農家が農業を続けやすく

日々の農作業をHFSでサポート

HFS支援の成果



•兼業による離農を防止

→農業生産の維持。無理のない農業を

•農地利用率をアップ！

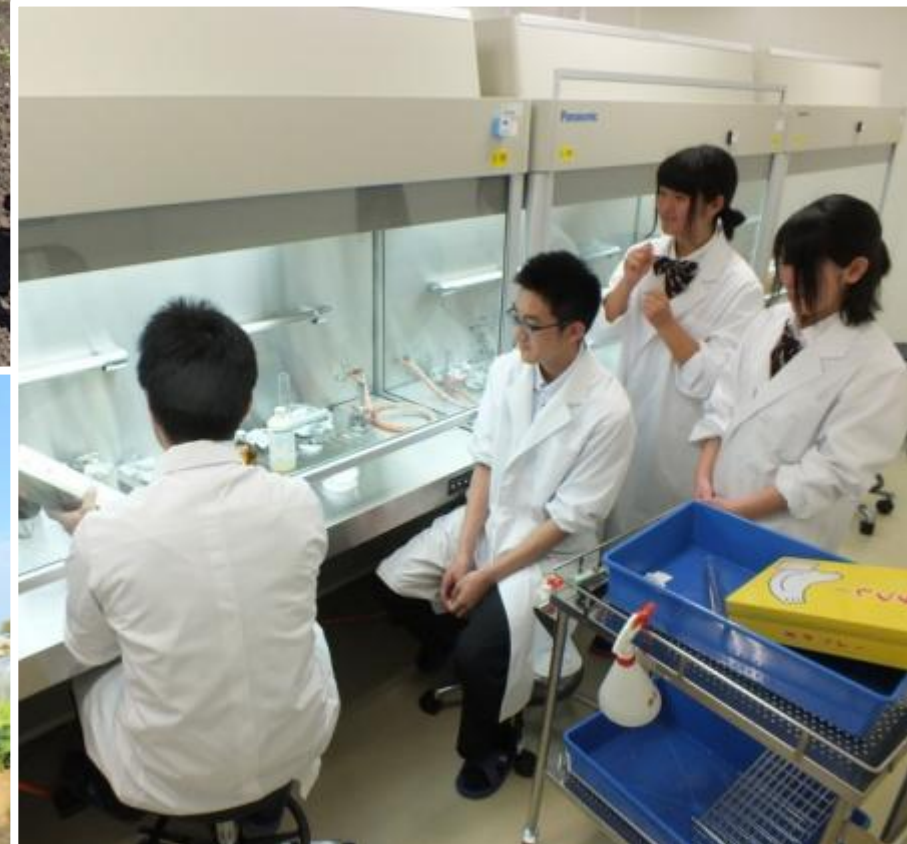
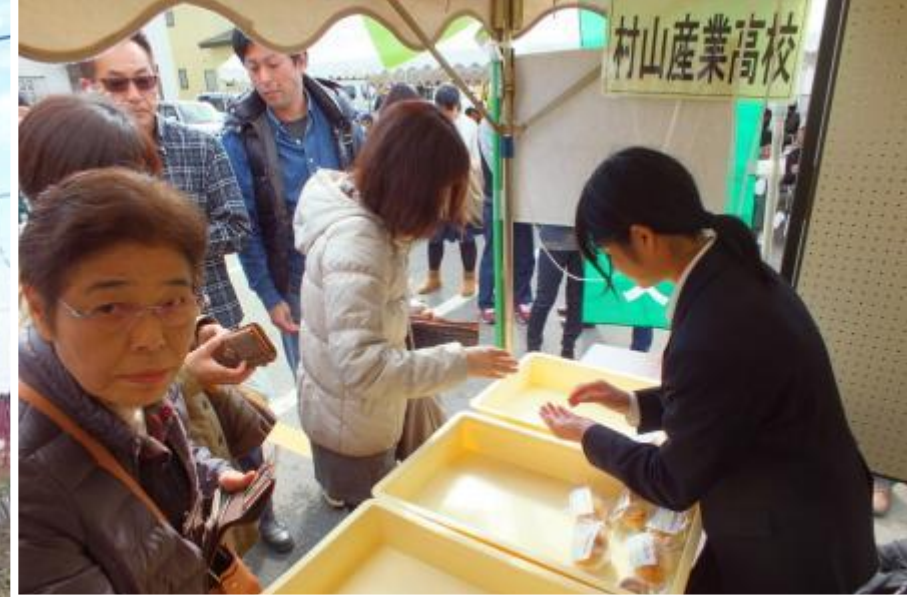
→「忙しいからやめた！」を無くす。

•専門家による支援で高収量・高品質化

→農家収入の増加。農地の維持へ

•農業生産の「質の向上」

→「ただ、続ける農業」、「ただ、つくる農業」をやめる。



地方創生の力ギは

兼業農家支援